

指標名	早期健全化基準	府中市
実質赤字比率 一般会計などの実質赤字の比率	13.07%	— (黒字)
連結実質赤字比率 全会計の実質赤字の比率	18.07%	— (黒字)
実質公債費比率 一般会計などが負担する公債費などの比率	25.0%	10.0%
将来負担比率 地方債残高などの一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の比率	350.0%	86.5%

公営企業会計（水道事業会計、病院事業会計、下水道事業特別会計）の資金不足比率についても公表が義務付けられています。公営企業会計（水道事業会計、病院事業会計、下水道事業特別会計）の資金不足比率については、公表が義務付けられていますが、全ての事業において資金不足はありません。

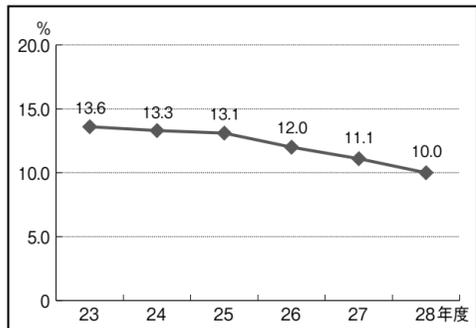
**平成28年度の比率は全ての基準をクリアしています**

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして毎年公表が義務付けられた4つの財政指標のことです。

**健全化判断比率・基金残高・市債残高の状況の公表**

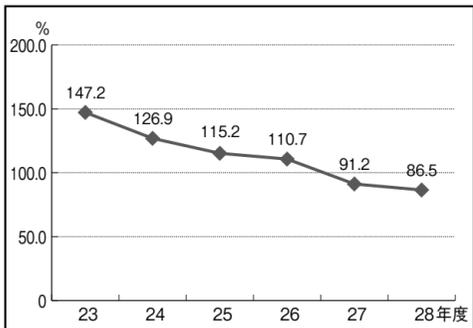
健全化判断比率の推移

実質公債費比率



実質公債費比率は早期健全化基準（25%）を大きく下回って推移し、比率も順調に改善しています。

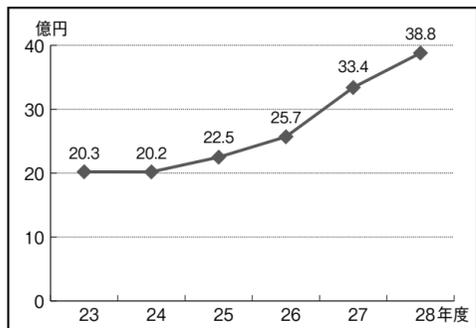
将来負担比率



将来負担比率も早期健全化基準（350%）を大きく下回って推移し、比率も順調に改善しています。

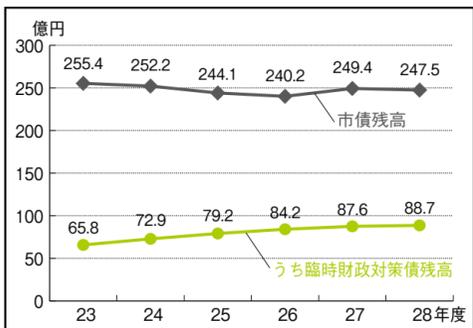
基金残高（貯金）および市債残高（借金）の推移

基金残高



市の貯金である普通会計の基金残高は5年前と比較しておよそ2倍に増加しました。この貯金は今後の財政運営に活用していきます。

市債残高



市の借金である普通会計の市債残高はほぼ横ばいで推移していますが、後年度に財政措置のある臨時財政対策債が増加していることから、実質的な市の借金は減少しています。

歳入は、前年度から26億1,351万円減の205億8,091万円となりました。

歳入減少の主な要因

市民病院改築工事の完了などにより、国庫支出金が6億1,215万円減少するとともに、市の借入金（市債）が11億4,990万円減少しました。歳入と歳出の差引額は6億1,470万円です。

※市民1人あたりの金額は、平成29年3月末人口40,612人で計算しています。

乳幼児等医療費給付事業 8,886万円

乳幼児などが、医療機関を受診した際に、医療費の助成をする制度です。平成28年度は、対象年齢を中学校3年生・義務教育学校9年生まで拡大しました。

ウッドスタート事業 123万円

子どもたちが木の温もりや香りを感じ成長することを願い、10か月健診を受診する乳児にありがとう積木を贈呈します。

桜が丘コミュニティセンター建設工事 2,036万円

宝くじコミュニティ助成金を活用して、桜が丘へ新たにコミュニティセンターを建設しました。

企業会計の決算状況

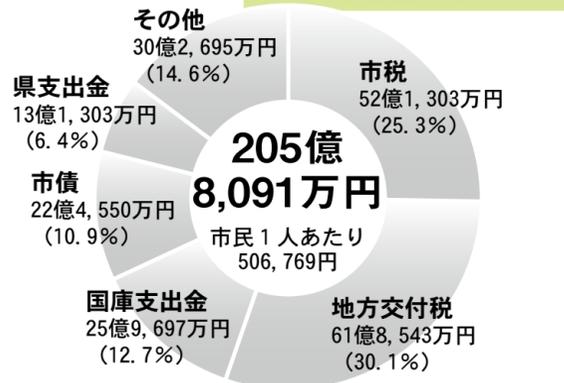
会計	区分	収入	支出	差引額	
水道事業	収益的収支	上水道	5億5,816万円	4億8,499万円	7,317万円
		簡易水道	9,713万円	9,355万円	358万円
	資本的収支	上水道	2億9,573万円	4億1,292万円	△1億1,719万円
		簡易水道	2,191万円	3,948万円	△1,757万円
病院事業	収益的収支	12億8,212万円	12億6,766万円	1,446万円	
	資本的収支	4,680万円	7,376万円	△2,696万円	

※収益的収支は通常の営業活動に伴う収支、資本的収支は資産の整備に伴う収支のことです。

地方独立行政法人府中市病院機構の決算状況

会計	収入	支出	差引額
府中市病院機構	35億8,296万円	36億2,335万円	△4,039万円

歳入



主な地方創生関連事業

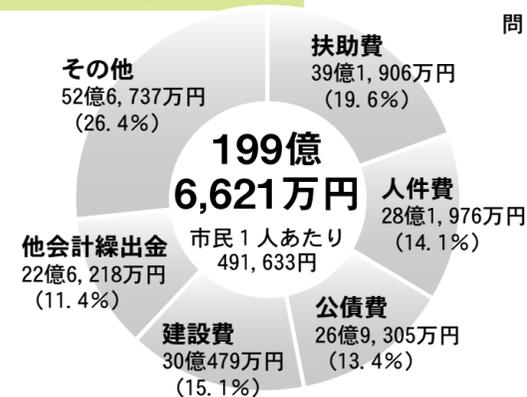
◎商工関連地方創生事業 778万円  
起業支援、投資促進事業補助、特産品開発補助などの市内事業者に対する支援を行いました。

◎観光関連地方創生事業 700万円  
市内への観光客増加を図るため、特産品の開発、案内板の設置、外国人向けのコンセプトツアーの実施などを行う団体に対して支援を行いました。

◎農業関連地方創生事業 393万円  
生産面積の拡大や農業所得の向上を図るため、キャベツや白菜などの地域振興作物や新規作物を生産する生産者へ支援を行いました。

◎定住関連地方創生事業 6,095万円  
都市圏からの移住を促進するため、府中市の産業などを体験することができる移住ツアーの実施や、市内企業情報を掲載したガイドブックの発行などを行いました。

歳出



問い合わせ先 企画財政課 (☎43-7119)

平成28年度一般会計の歳入・歳出決算の状況

歳出は前年度から、24億1,925万円減の199億6,621万円となりました。

歳出減少の主な要因

市民病院改築工事の完了などにより、建設費が19億9,963万円減少しました。

平成28年度の主な事業の紹介

道の駅整備事業 2億1,699万円

府中市産業の振興や、地域の観光、イベントの情報を発信し、まちの賑わいを創出する施設として整備しました。

府中市市民病院改築工事 3億8,027万円

府中地域の医療機能の維持・強化を図るため府中市市民病院を改築しました。平成28年度は、駐車場などを整備しました。

府中消防署へのはしご車整備 1億1,988万円

高所の火災にも消火活動が可能なのはしご車を、府中消防署へ配備しました。

府中市文化センター改修工事 4,171万円

寄付による大規模改修に併せて楽屋の改修や備品の購入などを行いました。

はじまりの広場整備事業 2,988万円

山陽道から備後国府跡へと続く分かれ道を再現したはじまりの広場を整備しました。

防災行政無線デジタル化事業（上下地域） 1億6,682万円

上下地域における防災行政無線の増設およびデジタル化を実施しました。

一般会計以外の決算の状況

特別会計の決算状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	45億7,982万円	45億720万円	7,262万円
公共下水道事業	10億8,737万円	10億8,737万円	0円
介護保険事業	50億7,840万円	49億6,891万円	1億949万円
保険事業	50億3,994万円	49億4,762万円	9,232万円
	3,846万円	2,129万円	1,717万円
後期高齢者医療事業	6億5,066万円	6億4,543万円	523万円
病院事業債管理	2億6,520万円	2億6,520万円	0円